

株式会社愛媛CATV
第32回番組審議会 議事概要

第32回番組審議会は、2021年7月20日（火）、株式会社愛媛CATV5階会議室において、6名の審議委員が出席し開催。審議会では、桐木会長の進行のもと「CATV番組・最近の取り組みについて」と諮問番組「愛媛県高校総体2021全力放送」を視聴し、それらに関する審議を行った。

■出席委員

会長 桐木 陽子（松山東雲短期大学教授）

委員 高山 正志（テレビ愛媛専務取締役）

委員 高岡 晃仁（愛媛県企画振興部デジタル戦略局デジタルシフト推進課課長）

委員 薬師神 権祐（星企画株式会社代表取締役社長）

委員 和田 祥恵（松山市在住愛媛CATV加入者）

委員 大山 正太郎（愛媛大学メディアサポーターズ映像部）

■諮問番組

「愛媛県高校総体2021全力放送」

■主な発言

「CATV番組・最近の取り組みについて」について

- ・知事会見や初詣の神社における人流を確認する定点カメラの映像などコロナ禍における安全・安心に必要な情報発信は良い取り組みだと思う。
- ・災害の時にケーブルテレビだと身近なところの状況がわかるので安心できた。
- ・デジタル化が進んでいる中で、デジタルに弱い方をどうやって支援していくのかが課題。その部分でも愛媛CATVに力を発揮してもらいたい。
- ・わきあいあいとやっているような料理番組を放送してほしい。
- ・若い人のテレビ離れが心配。今後、若い人に向けた取り組みも検討してほしい。
- ・各自治体ごとの情報など、地元のニッチなことにポイントを絞った放送を届けてほしい。
- ・様々な形で地元企業を巻き込んでケーブルテレビの放送を支えていければより良くなるのではないか。

諮問番組「愛媛県高校総体2021全力放送」について

- ・コロナ禍において、観戦したくても観戦できない人のために放送していただくのはありがたい。学校や他局と協力して取り組んでいることも良いことだと思う。
- ・全種目の放送など地上波ではこれだけの放送時間を割けない。親御さんや先生、生徒にとって記念にもなり、見る側としてはきちんと映っていて嬉しいと思う。しかし、逆の目で見ると、ガラガラしているようにも感じられる。解説や文字スーパーが少ないのは途中から見た場合やその競技に関係のない人にはわかりにくい部分もあると思う。
- ・こうした番組を競技参加者にDVD等でお渡しする機会を作れたら記憶にも記録にも残るので良いと思う。
- ・当事者以外の人が見た時に引き込まれるようなコメントや紹介があると見やすいのではないか。
- ・高校生の場合、高校野球が取り上げられることが多いが、今回のインターネット配信だと野球部以外の運動部員も主役になれるというのが良いことだと思う。

以上、これらのいただいたご意見を今後の制作に役立てるとことをお伝えした上で、引き続き、愛媛CATVの番組をご覧いただき、気になったこと等あれば何なりとご指摘いただくようお願いし、番組審議会を終了した。

以上